

事務事業名	野菜の価格安定制度事務		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	野菜生産出荷安定法
政策名	03	基幹産業の農業に対する強化・支援	所属部門	経済部	農林課 農畜産係(グループ)
施策名	05	農業経営と農村生活基盤の強化・支援	課長名	谷保 義明	担当者名 山本 久未 (内 415)
基本事業名	21111	農業生産基盤の整備	予算科目	会計 款 項 目 事業	
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input checked="" type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入				

事業概要 野菜は気象条件の影響により価格の乱高下が発生しやすい作物であるため、価格安定制度を構築することによって、生産出荷の安定を図ることができ、また、消費者に安定供給を行うことができる。 国、都道府県が主体となる価格安定制度の支援と、国の事業を補うための町独自制度の運営を行う。	全体計画 (単位:千円)	
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計 (A)	
	人件費	
正規職員従事人数		
人件費計 (B)		
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 生産者が国、道の制度適用を受けるための支援と、町独自制度の管理運営を行う。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 当該作物の延べ生産者戸数 戸 イ ウ
17年度計画 平成16年度と同じ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 キャベツ、だいこん、たまねぎ、ばれいしょ、ながいも、ごぼうの生産者	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 延べ生産者戸数 戸 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 野菜の価格乱高下による生産者の収入変動を小さくする。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 延べ生産者戸数 戸 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 野菜の安定生産	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 当該野菜の作付面積 ha イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	特定財源	千円						
	一般財源	千円						
	その他	千円						
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	4	3		
	人件費	千円	0	0	636	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	636	0	0	0	
活動指標	戸	644	609	591				
対象指標	戸	644	609	591				
成果指標	戸	644	609	591				
上位成果指標	ha	1,620	1,483	1,444				

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 生産者の安定出荷を図るため。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 本町における野菜の作付は事業開始当初と比較して定着してきたと考えられる。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 国・道の制度事業は対象野菜拡大の要望がある。 また、町独自事業については存続の希望がある。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	価格の補償は生産者が安定した野菜の生産を行っていく上で不可欠であり、事業の目的は生産基盤の整備に直結するものである。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	国、道の制度は、野菜生産出荷安定法に基づく事務があり、手を引くことは不可能。町独自制度については、平成17年度終期で整理をしている。		
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	全ての制度について、適時見直しを行っており、現在の対象、意図は既に適切なものになっている。		
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	国、道の制度は、野菜生産出荷安定法に基づいており、見直しの余地はない。町独自制度については、平成17年度終期で既に整理をしている。		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	国・道の制度の休止は、生産者の収入に直接影響を及ぼし、産地破壊につながりかねない。町の制度は運用後17年を向かえ、本町における野菜の作付振興に一定の成果を果たしたと考えられるため、平成17年度で終了する。		
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	類似事業はない		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	野菜の作付振興は、食のまちづくりに直結する。		
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	当初から事業費はもっていない。		
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	既に農協と業務の分担を行っており、また、一定の知識を要するため、これ以上の削減余地はない。		
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	国、道の制度は野菜生産出荷安定法で定められており、見直す余地はない。		

3 改革・改善方向の部(PLAN)																		
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上			×														
	維持低下		×	×														

(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？